

令和6年度 拡大安全会議

1月27日（月）に令和6年度の「拡大安全会議」を行いました。登下校時に通学路で安全指導をしていただいている地域交通安全員の方々と、児童や地域の安全に



関する情報交換や事案の検討を行いました。指導員の皆様には、10年以上も児童の登下校を見守っていただいています。話し合いの中で出た意見の一部です。安全・安心な生活に向けて、お子様と一緒に読んでください。（一部加筆しています。）

話し合いの内容

● 決まった通学路の利用について

「登下校時は行きも帰りも決まった道を通ることが重要」とのご意見をいただきました。災害発生時に子どもたちと保護者がすれ違いになるリスクを減らすため、保護者の皆様には、お子さんと通学路について話し合うことをお勧めします。実際に東日本大震災では、長尾小学校の子どもたちが下校時に地震があり、通学路をかえて下校してしまうと引き取りが難しかったという体験談もお話いただきました。特に、帰り道が違う場合には、注意が必要です。また、わくわく学童の

帰りの際には、正門が空いている時間（5時頃）であれば正門の利用が可能です。

● 安全確認の徹底

放課後、高根橋を通り森林公園へ向かう際、高根橋を通る児童が左右を見ずに道路を渡ることがあると教えていただきました。

● 地域での挨拶

コロナ禍が明け、元気に挨拶や会話をする子どもたちが増えてきています。長尾地域の特色として、挨拶をする子どもたちと、それを温かく受け入れる地域の大人たちの交流する姿はほほえましいと伝えていただきました。

● 校庭と公園での遊び

校庭開放の時間以外には、地域にある公園でも遊ぶ子どもたちも多く見られます。約束を守りながら、安全に遊んでいる様子が報告されました。

子どもたちの安全と安心を守るため、地域・学校・家庭が一体となって取り組んでいきます。引き続きご協力をお願いいたします。地域交通安全委員の皆様、暑い日も寒い日も長尾小の子どもたちのために、登下校の見守り、本当にありがとうございます。今後ともよろしく申し上げます。